

Q1・目指すクロッキーや憧れているクロッキーは、どのようなものですか？

虚栄や驕りがなく、謙虚でありながら卑屈ではない、新しい喜びで輝いているもの。

Q2・クロッキーで大切にしている要素は何ですか？

対象に惚れ込むこと。

Q3・何分のクロッキーが好きですか？また、時間に制約がある事には、どんなメリットがありますか？

2分。

自分の中の描きたい欲の強さを知ることができる。

Q4・画面の大きさの好みはありますか？理由があれば教えてください。

等身大。

大きければ大きい方が描くのは楽しいけれど、描いた後の処理に困るのが難点。

Q5・クロッキーの描き出しはどんなことに気を使いますか？

絶対にここだけは描きたい、ところから描く事。

Q6・クロッキーの終盤にはどんなことに気を使いますか？

終わりを意識しないこと。

最後まで「この時間が永遠に続く(続いて欲しい)」気持ちで描くこと。

Q7・クロッキーをしていてどんな時に慌てますか？また、どんな時に確信を得ますか？

物理的には、絵の具の入れ物を倒した時と、紙が破けた時。

精神的には、時計を見てしまった(集中が途切れてしまった)時。

描いている最中、いい集中ができていたら何も考えないので確信を持つことはありませんが、終わった時に「ああ、いい集中ができたな」と思えた時がそれなのかもしれません。

Q8・動きのあるポーズと静的なポーズどちらが好みですか？又は好きなポーズの傾向はありますか？

ムービングが好きです。といっても激しい動きの方がいいということではなく、「描くことができる」かつ「その人らしさ」をリアルに表現する形の組み合わせを探す感じです。

Q9・手に取る画材によって、描く対象の見え方は変わりますか？

見え方は変わらないかもしれませんが、

「動き」を描くのが得意な画材と「かたち」を描くのが得意な画材があるなあとは思っています。

Q10・クロッキーとそれ以外の作品との関係性をどう考えていますか？

よく、彫刻を作るための「準備」として(絵の)クロッキーをするのか聞かれることがありますが、私は粘土でクロッキーもできるので、彫刻のための「準備」として(絵の)クロッキーをするということはありません。

(絵の)クロッキーだからできる表現があるので、描きたい対象に合わせて選ぶ、一つの手段だと考えています。